



絵本のまち板橋

榎本製本株式会社

代表取締役 関根 康仁

生産課 塚本 翠

板橋区新河岸3丁目13-1

絵本や児童書を中心とした上製本と並製本の書籍をメインに製本している会社です。

昭和29年に文京区白山にある小石川植物園に隣接した場所で2つの工場を構えて創業したのですが、工場が手狭になったことと、近隣地域の住居者が増えて工場としてやっていくのが厳しくなった関係で昭和60年頃に板橋の工場を建設して移りまして、そこから約38年、新河岸で本を作っています。

移転する前も上製本中心の製本業として成り立ってはいたのですが、板橋に移転したことで工場が広くなりましたので、並製本のラインを新設しまして、本格的に上製ラインと並製ラインの生産を始めました。

中山道の国道17号線が板橋からそのまま文京に繋がっているんですね。ですのでおそらく物流で考えると、今も文京区で仕事をされている同業者や協力会社と板橋をメインに生産拠点を移した我々と、さらに少し北に行くと戸田の方にある加工会社の方々と、この中山道が板橋を中心に結んでいる。また都営三田線が茗荷谷と繋がりますので、そういった意味でも板橋の利便性は申し分ないと思っています。

大量生産時代に突入してもやはりクオリティを落とさないというのは仕事として大事だと考えていて、一冊一冊を検品するんですけど、その時の湿度だったり環境だったりの若干の違いで仕上がりが変わってくる。それを手作業で調整していく中で「これはよい、これはダメ」みたいに人によって意見が違う。生産の最中でもお互いに話し合いながら、みんなでもっと良いものを作り出そうとやり取りを繰り返して仕上げています。

同業に限らず異業種からきた人もいて、若い従業員もいて、現場で一緒にみんな汗をかき、「同じ釜の飯を食ってる」ということがとても大事で、会社の先輩後輩に関係なく学び合い教え合う社内環境を大切にしている、先輩たちが築き上げた知識や古い機械たちをこの後に誰でも引き継げるような形にしておくべきではない。さらにみんなの技術力を維持してより良くなるように伝承・継承していく。若い技術者を多く育てられるような環境づくりを維持していくことが未来へのビジョンとなっています。

